

2020年7月

簡易臨床検査機器を使用されているご施設担当者の方へ  
2020年度（第35回）臨床検査精度管理調査へのご協力のお願い

長野県臨床検査専門医会

会長 市川 徹郎

長野県臨床検査技師会

精度管理事業部長 藤原 祝子

長野県臨床検査精度管理調査は、30年以上にわたって長野県の臨床検査の品質を支えている全県的な調査です。現在では臨床検査を院内で行っている多くの病院等が調査に参加され、臨床検査データの現状把握、改善に役立てていただいています。

さて、ドライケミストリーに代表される簡易臨床検査機器は、測定や校正が非常に簡便で迅速に測定できる利点がある一方で、正確性・精密性に関しては大型の臨床検査機器よりも劣る点は否めません。

こういった背景から、品質のよい検査値を得るためには、院内で行う内部精度管理（常に安定した値を出す為のもの）と、他施設との測定値を比較する外部精度管理（真の値にどれだけ近いかを判定するもの）の両方を継続して行い精度を高めることが必要です。

長野県臨床検査精度管理調査は、長野県における外部精度管理調査の代表的なものとして、最近では、簡易臨床検査機器を使用されている診療所の参加も、徐々に増えてきています。

この精度管理調査にご参加いただきますと、他の医療機関との検査値の差を把握することができ、また、他施設との大きな差が認められた場合には、担当の臨床検査技師等から、より正確な検査を行うためのアドバイスを行うことも可能です。

つきましては、上記の点を鑑み、より多くの施設に長野県臨床検査精度管理調査の趣旨にご理解いただき、調査に参加いただきたくお願い申し上げます。